

授業科目	情報処理演習				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE10513J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	花沢 明俊							
授業概要	表計算ソフト Microsoft Excel を中心に、基本的な使い方の復習から、数式・関数を用いた計算、条件分岐処理、統計処理などの高度な使い方までを習得する。また、Microsoft Office のプログラミング機能によって、Excel による計算処理の自動化や PowerPoint プレゼンテーションによる高度な表現作成などの発展的使用方法を学習する。それらを用いた実践として、グループワークによる企画立案によって考案したテーマによるデータ収集・処理について、制作・プレゼンテーションを行い、情報ツールの高度な連携使用を体験する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Microsoft Excel の基本的な使用方法を習得し、レポート作成などに必要な基礎的能力を身につける。 2. Microsoft Excel の高度な使用法方を学習し、必要に応じ数式・関数計算やグラフ作成、統計処理ができる。 3. Microsoft Excel のプログラミング機能を学習し、計算処理の自動化や高度な表現ができる。 4. 計算処理やプレゼンテーションなどの発展的使用方法を体験するとともに、グループワークによるデータ収集・処理プロジェクトにおける実践によって、自由な発想を具現化するための、情報ツールの自在な連携使用ができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	25	10	0	25	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	25	10			30		65	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				25	10		35	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
Microsoft Excel を中心とした情報ツールの連携使用を習得し、情報収集・処理の必要に応じた多彩な利用方法を自らアレンジできる。				Microsoft Excel を用いた基本的な計算方法、関数、グラフの取り扱い、統計処理方法を習得し、在学中のレポート作成などに利用できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ: オリエンテーション・Excel の基本操作 授業内容についての概説および授業進行や利用するシステムの説明	講義	なし	
2	テーマ: 数式・関数 数式・関数を利用した計算(1) IF による条件処理	講義 小テスト 課題演習	教材予習	20
3	テーマ: 数式・関数 数式・関数を利用した計算(2) 論理演算と条件処理	講義 小テスト 課題演習	教材予習 課題復習	40
4	テーマ: 回帰分析 回帰分析ツールを利用したデータの分析	講義 小テスト 課題演習	教材予習 課題復習	40
5	テーマ: 統計検定 統計検定ツールを利用したデータの統計処理	講義 小テスト 課題演習	教材予習 課題復習	40
6	プログラミング機能 プログラミング機能を利用した計算処理の自動化 条件処理	講義 小テスト 課題演習	教材予習 課題復習	40
7	プログラミング機能 プログラミング機能を利用した計算処理の自動化 繰り返し処理	講義 小テスト 課題演習	教材予習 課題復習	40
8	テーマ: 中間試験	講義 小テスト 課題演習	教材予習 課題復習	40
9	テーマ: プログラミング機能 プログラミング機能を利用した表現の高度化(1) PowerPoint 表示のプログラム	テスト	試験範囲の学習	180
10	テーマ: プログラミング機能 プログラミング機能を利用した表現の高度化(2) 画像の利用	講義 小テスト 課題演習	教材予習 課題復習	40
11	テーマ: プログラミング機能 プログラミング機能を利用した表現の高度化(3) 音声の利用	講義 小テスト 課題演習	教材予習 課題復習	40
12	テーマ: グループ制作1 データ収集・処理作業	制作作業	制作作業	60
13	テーマ: グループ制作2 データ収集・処理作業	制作作業	制作作業	60
14	テーマ: グループ制作3 データ収集・処理作業	制作作業	制作作業	60
15	テーマ: プレゼンテーション発表会 制作物のプレゼンテーションおよび相互評価を行う	発表練習	発表練習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	キーボードのタイプスピードが遅いと、課題提出等に支障が出る場合があるので、各自タイピング練習サイト等を利用して、タイピング練習を行ってください。			
テキスト	授業時にオンライン教材を提供する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業時にオンライン教材を提供する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業以外:教材による予習・前回授業の教材による復習→授業時:(1)予習内容および前回授業の復習内容についての小テスト、(2)予習した知識を利用した課題制作・・・という流れで授業を行うため、授業内容の理解には教材を利用した予習が特に重要である。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	各試験問題および演習課題の要求事項を満たすことが必要である。 プレゼンテーションの評価は学生同士の相互評価によって行う。			

